

令和5年度事業報告

公益財団法人仙台ひと・まち交流財団

令和5年度の各種事業については、5月から新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことに伴って、地域活動や地域の方々の交流にも回復の傾向が見られるようになったことにより、概ね計画通りに実施することができた。

1 地域コミュニティの振興・支援等を行い、住みよい地域社会の実現に寄与する事業

【公1】費用：5,457,946千円

(1) 生涯学習によるコミュニティの振興及び関連活動の支援事業

(定款第4条第1項第3号及び第5号の事業)

市民センターを核とした生涯学習事業等の実施や移動図書館車による図書サービスの提供などを通して、地域での交流を促進し、主体的な活動を行う団体や人々を支援することで地域づくりを行った。

① ライフステージに併せた生涯学習事業

育児期や青年期、高齢期などのライフステージや、社会の変化に伴って生じる高齢化、安全・安心など、様々な課題に応じた学習機会を提供し、必要な知識や対応力等を身につけることができる事業を実施した。

(事業例)

- 中学生の社会性を育み、職業観を養う講座
宮城西市民センター「中学生のハローワーク」
- 近隣の子育て支援施設と連携し、地域一体となって子育てを支援する講座
岩切市民センター「岩切子育て応援事業」
- シニア世代を対象にフレイル予防のためのストレッチ等を学ぶ健康講座
松森市民センター「まつもり健康講座」

② 市民参画推進事業

市民が自ら学ぶことにより地域で主体的に活動し、学習成果を発揮できるよう、「学び」「交流」「行動」のあり方について参加者の意見が反映されるように工夫しながら、市民参画を推進する事業を実施した。

(事業例)

- 市民企画員が自ら学んだ地域資源についての講演会とまち歩きを実施した講座
田子市民センター「田子まち歩き『七北田川自然観察会』」
- 小中学生企画員が企画したイベントを地域の大人のサポートを受けながら実現させた講座
生出市民センター「夏のひんやり・ドキドキフェスタ」
- おやじの会等が地域の子どもたちのために企画した講座
南光台市民センター「南光台地域こども・大人ネットワーク」

③ 地域に関心を向ける事業

地域を見直し、関心や愛着を持つきっかけを作るために、歴史、自然、行事などの地域の資源や素材を生かした事業を実施した。また、地域団体や学校等との連携を通して、地域住民同士の顔の見える関係づくりにつなげ、地域の状況や地域活動へ関心を向けるきっかけづくりとなる事業を実施した。

(事業例)

- 小学生が地域資源を回るクイズラリーをしながら地域の歴史を学ぶ講座
片平市民センター「かたひら再発見クイズラリー」
- 地域防災講座
荒町市民センター「防災講座『つながる力』防災・減災を学ぶ・体験する」
- 伝承文化を地域に広める講座
根白石市民センター「継承しよう！根白石の伝統行事」

④ 地域で活動する人材の育成事業

自らの学習成果を生かして、ボランティアとして地域で活動できる人材を育てる事業を実施するとともに、これらの活動が継続できるよう支援した。

(事業例)

- 読み聞かせボランティア養成講座
若林市民センター「読み聞かせボランティア講座」
- 地域ボランティア養成講座
東中田市民センター「ほっこりサロンボランティア養成講座」
- 図書ボランティア養成講座
富沢市民センター「図書ボランティアスキルアップ研修会」

⑤ 世代を超えた地域の交流事業

世代を超えて、気軽に参加できるイベントや体験活動を通して、地域住民同士の交流や地域活動の推進につなげる事業を実施した。

また、地域住民同士の交流を通して、次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで見守り育てる体制づくりや、地域防犯・防災体制の強化につながるよう取り組んだ。

(事業例)

- 市民センターまつり
- 中学生の企画員が地域団体と一緒に企画・運営するイベント
折立市民センター「ライトアートin折立」
- コンサート
将監市民センター「将監ふれ・ミー♪ふれあいコンサート」

[コミュニティ振興のための生涯学習事業の実績(①～⑤の合計)]

	講座等		
	5年度	4年度	前年度比
事業数	715	722	99.0%
回数	3,135	3,164	99.1%
延べ参加者数	177,486	135,477	131.0%

※講座等…予め日時、回数等を決め、参加者を広く募集して行う主催・共催の講座等

⑥ 大会・研究集会の開催

■ 市民センターフォーラム 2024～まなびのタネをみつけよう！すべての人の健康と幸せを目指して～

SDGsの目標3の「すべての人に健康と福祉を」をテーマに、食の未来を考える特別講演やニュースポーツ体験、こころの健康につながるミニコンサートを実施し、多くの市民の方々が生涯学習に触れながら、健康的な生活を送る機会となるよう開催した。さらに、イベントのテーマに関する市民センター事業のパネル展を行い、市民センターにおける取り組みについて紹介した。

- ・実施日：令和6年2月17日(土)
- ・会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
- ・来場者数：190名
- ・特別公演「発酵から考える食の未来」 講師：宮城大学 教授 金内誠

⑦ 地域活動拠点施設等の運営及び地域活動団体支援事業

町内会、ボランティア団体、文化・スポーツ団体など地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、市民センターの維持管理・運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。

[市民センターの利用件数・利用率]

		利用件数			利用率		
		5年度 (件)	4年度 (件)	前年度比	5年度 (%)	4年度 (%)	増 減
青葉区		43,371	40,442	107.2%	75.4	72.8	2.6
宮城野区		29,324	27,840	105.3%	71.9	69.3	2.6
若林区		15,962	15,857	100.7%	72.2	68.7	3.5
太白区		30,000	28,180	106.5%	65.0	62.7	2.3
泉 区		33,524	30,411	110.2%	70.4	68.7	1.7
各区計	合 計	152,181	142,730	106.7%	71.0	68.5	2.5
	1館1月平均	215.6	203.0				

※備 考

- ・利用件数 部屋毎、日毎に算出
- ・1館1月平均利用件数 年間利用件数 ÷ (館数×12ヶ月－休館月数)
- ・利用率 総利用日数 ÷ 総開館日数
(総利用日数 = 各室利用日数の合計)
(総開館日数 = 各室利用可能日数の合計)

⑧ 地域情報等の収集・提供及び相談事業

地域にある様々な資源（歴史、文化、自然、行事、施設等）や地域で活動する人材・団体情報、生涯学習関連の情報などを収集し、地域住民等へホームページ及び広報紙などで提供した。

また、それらの情報をもとに市民の主体的な学習や活動の相談に応じた。

⑨ 移動図書館車による図書サービスの提供事業

■ ライフステージに合わせた図書の紹介及び読書活動の推進

図書館を利用しにくい地域を中心に、市内 77 か所の地域を 2 週間に 1 回の周期で巡回し、図書サービスを提供するとともに、幅広い世代の利用者が、ライフステージに合わせた図書を選べるよう、季節や行事を考慮した図書を積載した。

また、市内の小学校が実施する公共図書館利用学習の施設見学に移動図書館基地を加えてもらい、児童の受け入れを行ったほか、小学校に出向き、図書の借り方体験等により、児童の読書に関する興味・関心を促す移動図書館学習会を実施した。

■ 移動図書館車を臨時の拠点とした地域住民の交流の場づくり

地区社会福祉協議会等の地域団体と連携を図り、巡回日に合わせたサロン等の開催により、移動図書館をより多くの方に知っていただき、利用の促進を図った。併せて、「みやぎの・まつり」等、地域のイベントにも積極的に参加し、移動図書館車両の展示や図書の貸出等を通じて、地域の交流の場づくりに寄与した。

■ チラシの配布等による地域住民のニーズに沿った情報提供

事業を実施するに当たり、市民センターや児童館等施設の特長や財団のネットワークを活かし、地域情報の収集に努めるとともに、適宜情報提供を行った。

[移動図書館事業実績の推移]

項目	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比
利用者数（人）	19,413	20,247	95.9%
貸出冊数（冊）	103,041	109,777	93.9%
レファレンス数（件）	197	160	123.1%
予約件数（件）	8,997	9,140	98.4%
運行日数（日）	225	225	100.0%
巡回数（回）	1,727	1,693	102.0%
1回当たりの利用者数（人）	11.2	12.0	93.3%
1回当たりの貸出冊数（冊）	59.7	64.8	92.1%
1人当たりの貸出冊数（冊）	5.3	5.4	98.1%

(2) 児童の健全育成による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第4号の事業)

地域における遊びを通じた子どもの健全育成や子育て支援のネットワーク拠点として、地域諸団体等と連携しながら、児童の健全育成、子育て家庭支援、地域交流推進、放課後児童健全育成の4つの機能を果たすために、地域性を踏まえた児童館事業に取り組んだ。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊び場の提供に加え、遊びの支援や各種行事等を通して児童の健全育成を図った。

ア 子どもの自主性や協調性を育てる事業

子どもが自ら考えて遊びに取り組むことで自主性を培い、集団の遊びを通して相手を思いやる心や仲間大切さなど、協調性を育む事業を実施した。

(事業例)

- 子どもたちの企画・進行による遊びの広場
片平児童館「かたるんランドまつり」
- 行事の企画や日々の過ごし方について話し合う定例活動
水の森児童館「キッズスタッフ」
- 小学生がのびすくを訪問して、乳幼児への読み聞かせや手遊びを提供する行事
南小泉児童館「のびすく訪問隊」

イ 親子の交流事業

親子の交流を通して、親子での触れ合いや子どもの成長を喜びあう機会など、親としての成長と子どもの成長を育む事業を実施した。

(事業例)

- 年間を通じた季節ごとの行事による乳幼児親子の交流行事
田子児童館「親子であそぼ」
- ニュースポーツの体験を通じた親子のふれあいや親子どうしの交流行事
高森児童センター「親子モルック大会」
- 宮城野区内5館連携による乳幼児親子向けの親子交流イベント
高砂・田子・中野栄・福室・岡田児童館「ちびっこモール」

ウ 広域利用促進事業

■ 第10回ひと☆まち児童館フェスタ～みんなで育む遊びの杜！～

児童館の日常の活動を発信して親子の利用促進を図るため、家族で楽しみながら児童館の様々な活動を体験できる場として、遊びを通して楽しみながら親子交流や異年齢交流のできる児童館合同行事として企画した。当日は市内各区から親子が集い、全市的な児童館行事として、笑顔あふれる賑わいとなった。

- ・実施日：令和5年7月23日(日)
- ・会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア、定禅寺通中央緑道
- ・来場者数：1,502名 ※入場自由

内訳) 乳幼児446名、小学生291名、中高生5名
保護者651名、一般104名

- ・協力：立町マイスクール児童館（NPO 法人みやぎ・せんだい子どもの丘）
東二番丁マイスクール児童館（NPO 法人虹の架け橋）
仙台白百合女子大学子ども教育学科

② 子育て家庭支援事業

親子を対象とした行事や幼児クラブの開設、子育て相談、子育てサークル等の育成などにより、子育て家庭への支援を行った。

ア 乳幼児親子の交流事業

親子のふれあい遊びや保護者、乳幼児同士の交流を通して、心身の成長を図りコミュニケーションをとりながら友だちづくりができるよう、発達段階に応じた活動や異年齢交流の事業を実施した。

（事業例）

- 地域の集会所に出向いて行う、乳幼児親子向けの行事やサロンの定例行事
黒松児童館「親子で遊ぼう！（移動児童館）」
- サンホームとの連携による年間を通じた地域の親子交流行事
将監児童館「のびのびタイム」
- プレパパプレママの交流や産前産後の生活についての講座
東部児童館「☆はじめまして☆うえるかむ赤ちゃん講座」

イ 育児情報の提供及び育児相談事業

児童館を拠点に民生委員児童委員や保育士、地域の子育て経験者などと連携し、保護者が子育ての悩みを抱え、孤立することのないよう、育児相談や学習の場として、子育て家庭への支援を行った。

③ 地域交流推進事業

地域との連携事業の実施や交流活動を通して地域コミュニティの活性化を図るとともに、子育て支援クラブや子ども会などの児童館を拠点に活動する、児童の健全育成を図る団体の育成支援を行った。

ア 子どもと地域の交流促進事業

地域や世代を越えた交流を通して、地域を学ぶ機会や相手に対するいたわりの心を育むなど、社会性を育てる事業を実施した。

（事業例）

- 小学生が高齢者の集いの場を訪問し、楽器の演奏や遊びを通じて交流する行事
栗生児童館「いこいの家訪問」
- 留学生による多言語の読み聞かせやゲームを通じた国際交流行事
八幡児童館「多言語おはなし会」
- 小中学生が地域の名所等取材し、動画に記録して継承する活動
東中田児童館「まちのトレジャー・レポーター」

イ 子育て関係団体支援事業

児童健全育成に理解、関心を持つ地域住民、子育て支援団体（子育て支援クラブ、読み聞かせボランティア等）、子ども会育成会などの関係機関や地域の人材、中高生などとの日常的な関わりや連携を強化するために、児童館がこれらの子育てに関わる活動の拠点となり、協力関係を構築、推進する事業を実施した。

（事業例）

- コミュニティ・センターで定例開催している民児協主催のサロンに職員が出向き、遊びを提供しながら乳幼児親子と民生委員との交流を深める活動
桜ヶ丘マイスクール児童館「子育てみんなのおしゃべりサロンwaiwai」
- 近隣児童館や関係機関と連携した乳幼児親子向けイベント
七郷児童館「みんな集まれ！なないろ☆ちびっこフェス」
- 町内会の防火クラブと連携した災害時についての対応を学ぶデイキャンプ
鶴が丘児童センター「サバイバルメシでデイキャンプ」

④ 放課後児童健全育成事業

就労等により放課後等に保護者が家庭にいない小学生の児童を対象に、児童館・児童センターにおいて「遊びの場」「生活の場」を提供し、健全育成を図った。

[児童クラブ登録者数等]

（単位：人）

	令和5年度 (80館)	令和4年度 (80館)	前年度比
登録者数	9,508	9,402	101.1%
延長登録者数	2,775	2,837	97.8%

※登録者数・延長登録者数は、4月1日現在の人数

⑤ 児童館・児童センター運営事業

子どもが安全・安心に過ごし、遊びや集団活動を通して豊かな経験と成長を育み、お互いを仲間として尊重しあい成長していくことができるよう、ソフト・ハード両面においての環境整備に取り組んだ。

[児童館・児童センター来館者数]

（単位：人）

	令和5年度 (80館)	令和4年度 (80館)	前年度比
幼 児	74,275	73,197	101.5%
小学生	1,364,223	1,220,764	111.8%
中学生	7,327	2,372	308.9%
高校生	1,077	740	145.5%
その他	95,412	88,298	108.1%
合 計	1,542,314	1,385,371	111.3%
1館1月平均	1,606.6	1,443.1	

※乳幼児親子が令和4年7月1日、小中高生が10月1日から自由来館の利用が全面再開となった

(3) 地域文化活動振興による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第2号の事業)

戦災復興記念館及び文化センターでは、施設管理の業務にとどまらず、地域の文化や特性などを生かした多様な自主事業を展開し、市民の文化・芸術活動を通じた地域づくり、未来を支えるコミュニティづくりの発展に積極的に取り組んだ。

① 地域文化創造事業

住民の地域への誇りや愛着を深め、地域社会の連帯感を高めるため、共通のよりどころとなる地域の歴史、風土等に培われた特色ある伝統的な文化を生かした事業を実施した。

また、地域住民や各施設の利用者などと連携し、地域から新しい文化芸術活動を創造し、発信するための事業を実施した。

(主な事業)

ア 戦災復興記念館

■ 街なかコンサート【第5回】

「せんくらファミリーコンサート ニッポン西洋音楽事始—海を渡った異国の歌」

仙台クラシックフェスティバル 2023 の関連事業の一環として、より多くの地域の方々にクラシック音楽の魅力をお届けすることを目的に開催した。

- ・日 時：令和5年9月9日（土）
- ・会 場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出 演 者：高橋絵里（ソプラノ）、早坂卓（バリトン）、倉戸テル（ピアノ）
- ・入場者数：280名

■ 仙台いぐすか寄席【第3回】

世代を超えて気軽に寄席を楽しみ、笑いを共有できる場の創出を目指し、仙台に縁のある落語家などを迎えて開催した。

- ・実 施 日：令和5年11月12日（日）
- ・会 場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出 演 者：六華亭遊花、まつトミ、春風亭与いち
- ・入場者数：延べ475名（午前の席239名、午後の席236名）

■ 戦災復興記念館コンサート 2024 春風の調べ～ピアノの音色とともに～【第11回】

未来を担う若い音楽家や、音楽家を目指して戦災復興記念館を利用する市内の音楽教室に通う小中高生による優しく柔らかなピアノの演奏会を開催した。

- ・実 施 日：令和6年2月18日（日）
- ・会 場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出 演 者：佐藤和貴、蔡翰平、市内小中学生5名
- ・入場者数：210名

■ 仙台いったりかったりまち歩き どこに行くのか当日決定 まち歩きガチャ～仙台の昔と今をくらべてみよう！～

【ひと☆まち CONNECT selection program2023 ワークショップ】

資料展示室の写真等を基にまち歩きをしながら、昔の場所が現在どのように変わっているかを実感し、仙台をより知って関心を深めてもらうことを目的に開催した。

- ・実施日：令和5年8月19日(土)
- ・会場：戦災復興記念館 展示ホール及び市内各所
- ・協力者：司会・ナビゲーター ワッキー貝山
- ・参加者数：11名

■ 歴史ミュージアムネットワーク（通称：歴ネット）

仙台市内にある9つの歴史・文化系の施設で結成した歴ネットは、仙台の歴史・文化に親しんでもらうために、解説シート「歴ネットシート」の作成やイベントを行っており、その一環でスタンプラリーイベントや伝統門松の展示等を実施した。

イ 宮城野区文化センター

■ ワンコインコンサート

地域住民が手頃な料金で、クオリティの高い音楽に親しめるよう、平成25年度からシリーズ化して実施している。夜間の催事に足を運びづらい方にも気軽に来てもらえるよう、平日昼間に開催した。

	実施日	出演者
第52回	令和5年5月18日(木)	吉岡知広（チェロ） 加藤直子（ピアノ）
第53回	令和5年8月10日(木)	助川太郎（ギター） 助川龍（コントラバス）
第54回	令和5年10月11日(水)	タタル・ヘンリ（ヴァイオリン） 木下順子（ピアノ）
第55回	令和6年1月25日(木)	赤間夏海（メゾソプラノ） 原田満梨奈（ピアノ）

- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：延べ1,209名（全4回）

■ ワンコインシアター

演劇やリーディングを気軽に味わうことができるパトナシアターならではのステージイベントとして、令和2年度からシリーズ化して実施している。公演内容は、演劇や文学に馴染みが薄い方々にも楽しめるものとし、仙台の演劇人等の活躍の場を広げるとともに、言葉の芸術に親しむ市民のすそ野を広げていくことを目指した。夜間の催事に足を運びづらい方や、日中働いている方や学生の方にも来場してもらえるよう、昼間と夜間の2回公演で開催した。

- ・実施日：令和5年6月8日(木) vol.11「飛び花座 宮城野寄席」
令和5年10月14日(土) vol.12 朗読「イサムよりよろしく」
令和5年12月21日(木) vol.13 演劇「妻の女友達」
令和6年2月23日(金・祝) vol.14 Reading Stage「ホダニエレーガ」

- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・入場者数：延べ1,395名（全8回）

■ 室内楽セレクション “Music from PaToNa” 【第10シーズン】

パトナホールは、優れた残響特性を持ち弦楽器等の音色が美しく響くことや、客席数の規模などから、“室内楽”ジャンルに適したホールとして演奏家の間で高い評価を得てきた。文化センターでは、響きの良いホールで良質な音楽を、低廉な料金で提供する機会を設け、地域住民への文化芸術の普及、及び関心を高める契機とするため

の室内楽コンサートを年4回開催した。併せて、関連イベントとしてオープンゼミナールや音楽を学ぶ学生たちにアンサンブルのポイントをレクチャーするアンサンブル・アカデミーなどを開催した。

10th Season

- ・実施日：令和5年4月27日(木) vol.35「といかける」
令和5年7月28日(金) vol.36「おいもとめる」
令和5年11月1日(水) vol.37「きわめる」
令和6年2月8日(木) vol.38「ふくらむ」
- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：延べ1,010名(全4回)
- ・関連イベント：オープンゼミナール(年4回)
公開リハーサル(年1回)
アンサンブル・アカデミー(年1回)

■ 街なかコンサート【第6回】

クラシックを含めた文化芸術の普及と区民の交流促進を図るため、仙台市市民文化事業団と共催で「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」のプレイベントとして街なかコンサートを実施した。

- ・実施日：令和5年9月17日(日)
- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・出演者：ピアノデュオ・リブラ(三又瑛子・文京華)
- ・入場者数：149名

■ 震災復興交流事業「あなたのオモイ それぞれのカタチ」【第12回】

宮城野区が東日本大震災で大きな被害を受けたことを踏まえ、震災復興に携る団体や地域住民とともに、多様な表現による震災の記憶の伝承と交流の場となるような事業を協働で開催した。

- ・実施日：令和6年3月2日(土)～3月12日(火)
- ・入場者数：延べ1,402人

コンサート	2公演	総入場者数：302名
朗読会	1公演	総入場者数：130名
演劇公演	1公演	総入場者数：150名
上映会	1本	総入場者数：21名
展示等	5企画	総入場者数：799名

■ ワークショップ事業 演劇ワークショップ「みやぶん演劇学校」【第11回】

参加者が演劇を体感することにより、自分の体に潜む感覚、感性に気づき、表現を発見し、その体験を通じて日常生活を豊かにするきっかけづくりのひとつになることを目指して演劇ワークショップを開催した。様々な世代の方が参加することによって普段できないつながりを感じ、芸術を通しての“非日常感”を実感することにより、文化芸術をさらに好きになってもらうことも目的とした。

- ・実施日：令和5年12月5日(火)、8日(金)、15日(金)、19日(火)、22日(金)
- ・会場：宮城野区文化センター リハーサル室
- ・講師：よしだめぐみ(パフォーミングアーティスト)
紅絹(もみ)(アシスタント)
- ・参加者数：延べ62名(全5回)

■ 宮城野うたまつり【第9回】

「歌のチカラでみんな元気に！」という趣旨のもと、地域（宮城野区）の発展と交流そして復興を願いながら、地域の合唱サークルを中心とした合唱祭を市民センターと共催で開催を予定していたが、台風13号の接近の影響により中止した。

・開催予定日：令和5年9月9日(土)

■ ふるさと宮城の牡蠣殻を使った美術ワークショップ「宮城の牡蠣殻でつくる日本画体験」

【ひと☆まち CONNECT selection program2023 ワークショップ】

ワークショップを通じて、プロのアーティストと参加者が直接つながることにより、美術鑑賞やコンサートのような受動的な体験ではなく、参加者自身が主体的に繰り広げられるような活動を目指し開催した。

・実施日：令和5年7月16日(日)

・会場：宮城野区中央市民センター 創作室

・参加者数：15名

■ みんなの広場づくりプロジェクト【第11シーズン】

地域の方々の交流の場となる「みんなの広場」としての空間づくりと、創造性豊かな子どもの育成、区内の若い世代による創作及び普及活動の支援を目的として文化センター内外に飾り付けを行った。

・実施回数：年7回

(主な展示等)

□ 「空間のアトリエ」

地域の保育園、幼稚園、児童館の協力を得て、こいのぼりや七夕吹流し、ウィンターツリーなどを作製し、吹抜けに展示した。併せて、施設の利用者にも「つながるこいのぼり」や「願い星飾り」、「冬のガーランド」を作製してもらい展示した。

□ 「お花をいっぱい咲かせよう」

併設施設の原町児童館の児童と一緒に、文化センター前広場に設置しているプランターの植物の植え替えを行った。

□ 「夢ギャラリー」

区内の学生を対象にパブリックスペースを会場とした発表の場を提供し、文化センターの賑わいを創設した。宮城県宮城野高等学校美術科の卒業制作展、東北芸術高等専修学校・北海道芸術高等学校ファッション・ビューティーコース、マンガ・イラストコース、美術コースの作品展を行った。

■ フラットシアターフェスティバル【第2回】

障がいや年齢の違いを問わず、あらゆる子どもたちが舞台芸術や様々な表現を楽しむイベントを関連団体との共催で開催した。

・実施日：令和5年9月16日(土)～17日(日)

・会場：宮城野区文化センター シアターホール他

・入場者数：延べ280人

ウ 若林区文化センター

令和5年4月1日から令和7年6月まで大規模改修工事中のため、自主事業は他の文化センターに会場を変更して開催した。

■ ダンス・フェスティバル in 仙台【第12回】

市内で活動する各種ダンスの団体による発表の場と、地域の方々に鑑賞の機会を提供することで、人や文化の交流を深めるとともに、ダンスを身近なものとして感じてもらうことを目的として開催した。

- ・実施日：令和5年7月22日(土)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・入場者数：700名
- ・出演者：アフリカンダンス&ドラムチーム TERANGA、長町児童館ながまちダンス KITZ、長命ヶ丘児童センターレクダンスクラブ、聖和学園高等学校チアリーディング部、宮城県宮城第一高等学校ジャズダンス部
他4団体(250名)

■ 若林区童謡フェスティバル【第28回】

幅広い世代に親しまれている童謡などの継承発展と地域の方々の交流促進を図るとともに、よりよい地域コミュニティづくりを推進することを目的として開催した。

- ・実施日：令和5年11月18日(土)
- ・会場：宮城野区文化センター パトナホール
- ・入場者数：480名
- ・出演者：コール三燦、るるる^{ん♪}ハーモニー、若林混声合唱団、仙台市立原町小学校 柿の木合唱団、仙台市立南材木町小学校 南の星合唱団、コールはまなす、聖和学園高等学校合唱部、仙台童謡愛好会Bグループ
HAPPY RABBIT 計8団体(120名)

■ わかぶん吹奏楽フェスティバル【第3回】

地域の文化資源である吹奏楽団体の演奏を通じ、その魅力や活力を地域に発信し、多くの方々に感動と喜びを届けることで、地域の音楽文化の向上や交流を図ることを目指して開催した。

- ・実施日：令和6年1月8日(月・祝)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・入場者数：400名
- ・出演者：若林区吹奏楽団、ブラスパーティ仙台東、仙台市立八軒中学校吹奏楽部、仙台城南高等学校吹奏楽部、宮城県仙台南山高等学校吹奏楽部
計5団体(60名)

■ アート・ギャラリー「わかぶん」

若林区民手づくりによる身近なアートの発表の機会や、市民の憩いの場の提供を図ることを目的として、また、若林区の魅力アップを図る空間、あるいは新たなつながりを創り出す空間となるような、各種の展示発表等を行った。令和5年度は大規模改修工事期間中のため、1階のロビーを活用して展示した。

(主な展示)

□ デイサービスセンター合同作品展

若林区内にあるデイサービスセンターでの日々の活動での制作の発表の場となり、また、出展者同士の交流の場となることを目的として、複数のデイサービス施

設と共催し、デイサービス利用者の活動で制作された作品の展示発表を行い、地域の方々に見ていただく機会とした。

また、今回は連動企画講座として、介護のサービスや制度、暮らしの情報整理についての講座「地域で安心・快適に これからの暮らし健康ルーム」を開催した。

・実施日：①令和6年2月27日(火)～3月10日(日)

②令和6年3月12日(火)～3月24日(日)

※連動企画講座は令和6年3月12日(火)に開催。

・来場者数：延べ1,000名(連動企画講座参加者20名)

■ 見る・踊る・楽しむ はじめてダンス

【ひと☆まち CONNECT selection program2023 ワークショップ事業】

小学生(高学年)を対象に、多種多様なダンスに触れてもらう機会を提供し、楽しみながらダンスを体験してもらい、文化活動参加への契機となることを目的に開催した。

ダンス・フェスティバルに出演している聖和学園高等学校チアリーディング部に講師を務めていただき、高校生と小学生の交流の機会となった。

・実施日：令和5年8月12日(土)

・会場：宮城野区文化センター パトナシアター

・講師：聖和学園高等学校チアリーディング部

・参加者数：7名

エ 太白区文化センター

■ 楽楽楽文化祭 2023～「楽しいこといっぱい」の一日～【第7回】

社会と障がいのある方との関わりを、アートを通して支援している団体と協力し、来館した誰もが気軽に多様な文化芸術に親しみ、体感することを目的として実施した。障がい者や乳幼児親子、高齢者、性別や年齢を問わず、会場に来た方々が楽しめるワークショップ等を開催した。

・実施日：令和5年12月17日(日)

・会場：太白区文化センター

楽楽楽ホール：「冬のひだまりコンサート」

ホワイエ：「楽楽楽マルシェ！」

展示ホール：「Ai ファクトリー@楽楽楽文化祭/楽楽楽ツリーを作ろう！」

音楽練習室1：「楽楽楽多文化映画祭」

・共催：一般社団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人ほっぷの森

・入場者数：500名

■ 楽楽楽ミュージックフェスティバル 2024【第11回】

地域文化の向上を図るため、太白区内の小中高生や、地域で活動している音楽サークル団体に、成果発表の機会と交流の場を提供した。併せて、運営面においても地域の実行委員会や共催団体の方々と連携し、一体となってイベントを作り上げた。

・実施日：令和6年1月27日(土)

・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール

・出演団体：計26団体(504名)

・入場者数：延べ950名(第1部300名、第2部650名)

・主催：楽楽楽ミュージックフェスティバル実行委員会

- ・共 催：宮城県合唱連盟、太白区民合唱祭実行委員会、宮城県仙台太白地区吹奏楽連盟

■ 楽楽楽ステージパフォーマンス 2023【第 11 回】

可変式の楽楽楽ホールの特徴を活かし、三方から観覧できるパフォーマンスに最適なオープンステージを使用し、出演者と来場者が一体となって楽しめるステージイベントを開催した。地域や文化センターで活動している団体が出演し、ビックバンドやダンス等、多彩なパフォーマンスを披露した。

- ・実 施 日：令和 5 年 11 月 12 日(日)
- ・会 場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体：計 5 団体 (100 名)

仙台市立八木山小学校バンドサークル“夢色音楽隊”、フラ ホニケアロハ、日本舞踊 舞舞キッズ、鼓逢、羽跳天

- ・入場者数：320 名
- ・協力：宮城県仙台西高等学校 放送部

■ 長町から JAZZ に触れるクリニック&コンサート【第 3 回】

太白区内の学校の吹奏楽部を対象に、技術の向上と参加団体同士の交流を図ることを目的として地元アーティストによるミュージッククリニックを実施した。また、クリニック終了後には、指導を行った地元アーティスト出演の、気軽に楽しんでもいただけるジャズコンサートを開催した。

- ・実 施 日：令和 5 年 9 月 23 日(土)
- ・会 場：太白区文化センター 楽楽楽ホール

【ミュージッククリニック】

- ・参加団体：仙台市立長町中学校吹奏学部 27 名、聖和学園高等学校吹奏楽部 26 名

【ジャズコンサート】

- ・出 演 者：熊谷駿（サクソ）、斎藤めぐむ（ピアノ）、岩谷真（ベース）、岸川雅裕（ドラム）

- ・入 場 料：1,000 円
- ・入場者数：467 名

■ ミニギャラリー展示

1 階エントランスの掲示スペースを「太白区文化センターミニギャラリー」とし、文化センターや市民センターで活動する文化系サークル団体の絵画や書道等の作品を展示した。併せて、財団の運営する児童館や近隣団体等と連携し、来館者に楽しんでもいただける場づくりや地域の情報発信を行った。

- ・実施回数：年 13 回

(主な展示)

□絵画サークル「植物画を書く会」

- ・実施日：令和 5 年 5 月 24 日（水）～6 月 8 日（木）

□折り紙サークル「仙台七夕づくり応援隊」

- ・実施日：令和 5 年 7 月 18 日（火）～31 日（月）

■ 夏休み企画「ほしひろば」

文化センターを身近に感じてもらえるよう、夏休み期間に合わせて地域の親子連れや児童館に来館している小学生を対象として、誰でも簡単に取り組むことができるワークショップを実施した。

- ・実 施 日：令和 5 年 8 月 7 日(月)

- ・会 場：太白区文化センター 1 階エントランススペース
- ・共 催：長町児童館
- ・参加者数：39 名

■ 大人のクラシック入門コンサート 室内楽・弦楽四重奏解体新書

～音楽を・気楽に・楽しもう！～

【ひと☆まち CONNECT selection program2023 ワークショップ】

音楽に対する興味を深め、親しみをもってもらうことを目的として、普段触れる機会の少ないヴァイオリンやチェロの弦楽器の体験ワークショップと楽曲解説を含めたコンサートを開催した。

- ・実 施 日：令和 5 年 8 月 18 日(金)
- ・会 場：太白区文化センター 展示ホール
- ・協 力：株式会社ハナミズキ音楽事務所
- ・参加者数：47 名

オ 広瀬文化センター

■ 広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～【第3回】

宮城広瀬高等学校演劇部の卒業生を中心に結成され、現在では国内外で高く評価されている白Aのプロデュースによるステージイベントを開催した。

ステージイベントの開催に先立ち、吉成市民センター及び吉成児童館と連携し、それぞれの専門性を活かした3館共催事業「吉成チャイルドスクール」として「アート作品づくりワークショップ」を開催したほか、仙台市立仙台高等学校ダンス部、社会福祉法人 恵萩会 落合はぐくみこども園と連携して「ダンスワークショップ」を開催し、各ワークショップで創り上げた作品をステージイベントで披露するなど、参加者とともに創り上げるイベントを開催した。

□ダンスワークショップ

仙台高等学校ダンス部

- ・実 施 日：令和 5 年 10 月 20 日(金) 他 5 日間
- ・参加者数：延べ 113 名 (全 6 回)

落合はぐくみこども園

- ・実 施 日：令和 5 年 10 月 5 日(木)、10 月 11 日 (水)
- ・参加者数：延べ 112 名 (全 2 回)

□アート作品づくりワークショップ ※「吉成チャイルドスクール」として開催

- ・実 施 日：令和 5 年 10 月 28 日(土)
- ・会 場：吉成市民センター 会議室、和室、ホール
- ・参加者数：29 名

□ステージイベント

- ・実 施 日：令和 5 年 11 月 4 日(土)
- ・会 場：広瀬文化センター ホール
- ・入場者数：延べ 400 名
- ・出 演 者：パフォーマンス集団「白A」、仙台市立仙台高等学校ダンス部
社会福祉法人 恵萩会 落合はぐくみこども園 (映像出演)

■ ひろせサマーナイトコンサート 2023 & 民俗芸能フェスティバル【第 14 回】

新旧住民の交流促進や魅力ある地域コミュニティづくりに資することを目的に、夏の夜の屋外イベントを開催した。

当日は、ジュニアリーダーの司会のもとで、文化センター利用団体や地域の民俗芸能団体による発表を屋外特設ステージで行い、敷地内では町内会や自治会等の協力のもと、飲食を伴う屋台や子ども向けのお楽しみコーナーを設けた。

- ・実施日：令和 5 年 8 月 6 日(日)
- ・会場：広瀬文化センター 正面玄関前屋外特設ステージ、ホールホワイエ等
- ・入場者数：延べ 3,000 名
- ・出演者：11 団体（ソロ出演 1 名を含む）

■ 和楽器体験 篠笛に触れてみよう！

【ひと☆まち CONNECT selection program2023 ワークショップ】

民俗芸能の活動が古くから引き継がれ、地域に根付く宮城地区において、日本の伝統ある和楽器として知られ、和太鼓等でも使用される篠笛をテーマに開催した。また、ワークショップ終了後、サマーナイトコンサートのステージ発表において講師と参加者による合奏の機会を設け、練習を重ねた 2 曲を披露した。

- ・実施日：令和 5 年 7 月 1 日(土)、7 月 16 日(日)、7 月 23 日(日)
- ・会場：広瀬市民センター セミナー室 A・B
- ・講師：篠笛奏者 石田陽祐
- ・参加者数：延べ 52 名(全 3 回)

■ 併設施設 3 館連携事業「ケロッキーブーと吉野作造」展

併設する広瀬市民センター及び広瀬図書館と連携し、本や音楽、アートや学びなどのそれぞれの専門分野を活かしながら、地域の子どもの情操教育や創作文化活動に貢献することを目的に開催した。

今年度は、吉野作造に関連するパネル展示、人形劇、講演会を開催した。

□パネル展示

- ・実施日：令和 5 年 9 月 7 日(木)～10 月 5 日(木)

□人形劇「人形劇『ケロッキーブー』とおはなし会」

- ・実施日：令和 5 年 9 月 17 日(日)
- ・参加者数：37 名

□講演会「大正デモクラシーは宮城県がルーツ！！」

- ・実施日：令和 5 年 9 月 23 日(土・祝日)
- ・参加者数：29 名

■ ひろせワクワクシアター【第 10 回】

魅力ある映画作品を家族や友人と一緒に鑑賞する楽しみを通じて、地域における文化の振興や、市民の教養・レクリエーション等に資することを目的に、併設施設の広瀬図書館と共催し、親子で楽しめる映画上映会を開催した。

- ・実施日：令和 5 年 11 月 26 日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・上映映画：「SING/シング：ネクストステージ」
- ・入場者数：延べ 346 名(全 2 回)

■ ミュージックフェスティバル 2024 広瀬のひびき【第 23 回】

地域の合唱団体や吹奏楽団体等が出演する音楽祭を開催し、文化センターを拠点とした「文化的つながり」と「人と人とのつながり」を創出するとともに、発表や鑑賞機会の提供による地域の文化芸術の向上と市民の交流を図ることを目的に開催した。

- ・実施日：令和 6 年 1 月 28 日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・出演団体：10 団体（第 1 部 合唱編:4 団体、第 2 部 吹奏楽編:6 団体）
- ・入場者数：延べ 950 名

■ 一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2023【第 10 回】

ロビー等の空間を活用しながら、地域の団体に日ごろの活動の成果発表の機会を提供することを目的に、地元の写真サークル、高等学校及び高等専門学校の写真部と連携して写真展を開催した。

- ・実施日：令和 5 年 12 月 5 日(火)～12 月 17 日(日)
- ・会場：広瀬文化センター 1 階ロビー他
- ・参加団体：5 団体
- ・来場者数：延べ 1,611 名

■ ひろせの森クリスマスワークショップ【第 2 回】

子育て家庭が多い地域性を踏まえ、身近な施設で気軽に親子でクリスマス作品づくりを楽しんでいただけるよう、併設施設の広瀬市民センターと共催し、ワークショップを開催した。また、ワークショップの開催に先立ち、1 階ロビー等にクリスマスツリーやクリスマスイルミネーションの装飾を行い、自由工作コーナーを設けるなど、誰でも楽しむことができるクリスマスイベントとして開催した。

- ・実施日：令和 5 年 12 月 24 日(日)
- ・会場：広瀬市民センター 2 階オープンスペース、オープンステージ
- ・参加者数：延べ 250 名
- ・その他：イルミネーション ※令和 5 年 12 月 5 日(火)～27 日(水)
自由工作コーナー ※令和 5 年 12 月 19 日(火)～23 日(土)

■ 「マイステージ in ひろせ」「マイギャラリー in ひろせ」

2 階オープンステージを活用してコンサートを実施する「マイステージ in ひろせ」と、1 階ロビーや 2 階オープンスペースを活用して絵画や写真などの市民作品を展示する「マイギャラリー in ひろせ」を通年開催しており、令和 5 年度は 26 事業の展示等が行われた。

(主な展示等)

- ・広瀬図書館「錦ヶ丘中学生の「おすすめ本」POP 展」
令和 5 年 11 月 14 日(火)～11 月 30 日(木)
- ・広瀬中学校等 4 校特別支援教室「はばたけ展」
令和 6 年 2 月 3 日(土)～2 月 16 日(金)

カ ヒト☆まち CONNECT selection program 2023 ～ワークショップ～

戦災復興記念館と文化センターにおいて、それぞれの特色と組織力を活かし、文化事業の魅力をより身近に体感できるワークショップを開催した。また、事業の参加を通して財団の他の事業にも関心を広げてもらう機会とした。

■ 広瀬文化センター 令和5年7月1日(土)、16日(日)、23日(日)

和楽器体験 篠笛に触れてみよう！

■ 宮城野区文化センター 令和5年7月16日(日)

ふるさと宮城の牡蠣殻を使った美術ワークショップ

「宮城の牡蠣殻でつくる日本画体験」

■ 若林区文化センター 令和5年8月12日(土)

見る・踊る・楽しむ はじめてダンス

■ 太白区文化センター 令和5年8月18日(金)

大人のクラシック入門コンサート 室内楽・弦楽四重奏解体新書

～ 音楽を・気軽に・楽しもう！ ～

■ 戦災復興記念館 令和5年8月19日(土)

仙台いったりかったりまち歩き どこに行くのか当日決定 まち歩きガチャ

～仙台の昔と今をくらべてみよう！～

② 文化活動拠点施設等の運営及び文化活動の育成支援事業

ア 地域文化活動拠点施設等の管理運営

仙台市内にある数多くの文化芸術団体等に対して、練習や発表の場を提供し、文化芸術の向上が図られるよう、文化センター等のホールや会議室等を利用に供するなどの施設運営を行った。

(主な事業)

- 戦災復興記念館運営
- 宮城野区文化センター運営
- 若林区文化センター運営
- 太白区文化センター運営
- 広瀬文化センター運営

[文化センター等の利用件数・利用率]

		利用件数			利用率		
		5年度 (件)	4年度 (件)	前年度比	5年度 (件)	4年度 (件)	増 減
戦災復興 記念館	記念ホール	245	85	288.2%	62.5	62.7	△ 0.2
	展示ホール・会議室等	2,933	808	363.0%	60.4	53.6	6.8
宮城野区 文化センター	コンサートホール	306	297	103.0%	72.4	73.2	△ 0.8
	シアターホール	227	223	101.8%	60.2	61.2	△ 1.0
	リハーサル室等	3,509	2,894	121.3%	95.9	91.3	4.6
若林区 文化センター	ホール	-	18	-	-	78.3	-
	展示ホール等	-	3,138	-	-	84.0	-
太白区 文化センター	楽楽楽ホール	242	176	137.5%	68.9	71.9	△ 3.0
	展示ホール等	4,082	3,720	109.7%	92.0	88.8	3.2
広瀬 文化センター	ホール	228	119	191.6%	58.6	58.9	△ 0.3
	リハーサル室	938	933	100.5%	97.4	97.1	0.3

※備 考

・利用件数 部屋毎、日毎に算出

・利 用 率 総利用日数÷総開館日数

(総利用日数＝各室利用日数の合計)

(総開館日数＝各室利用可能日数の合計)

※戦災復興記念館 ホール・会議室等：R3. 7. 1～R4. 11. 30 休館（改修工事）

※若林区文化センター ホール：R4. 4. 1～R4. 6. 30 休館（R4. 3. 16 発生の地震により施設が損傷したため）

ホール：R4. 7. 27～R5. 3. 31 休館（ホール天井スリット部落下のため）
R5. 4. 1～大規模改修工事による休館

※太白区文化センター ホール：R4. 3. 17～R4. 7. 31 休館（R4. 3. 16 発生の地震により施設が損傷したため）

R6. 2. 15～R6. 3. 12 休館（舞台照明設備改修工事のため）

※広瀬文化センター ホール：R4. 10. 1～R5. 3. 31 休館（ホール舞台機構改修工事）

イ 文化活動育成支援事業

発表の場における効果的な演出のアドバイスや、日頃の活動を把握して他の団体との連携をコーディネートする等、利用者の技術の向上に寄与できるよう取り組んだ。また、若年層を対象とした照明・音響・舞台機構等の操作を体験できる機会を提供し、若い世代の文化の担い手育成に取り組んだ。

(主な事業)

戦災復興記念館

■ 戦災復興記念館バックステージツアー2024 ～我らステージ探検隊～

小中学生を対象に、舞台芸術に興味・関心を持つきっかけづくりとして、多感な時期に好奇心をかきたてる“仕掛け”を施した舞台裏の見学体験ツアーを、舞台技術担当やピアノ調律師の協力を得て実施した。

- ・日 時：令和6年3月16日（土）
- ・会 場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・参加者数：小学生4名、保護者4名
- ・内 容：1部 探検隊入門編 体験してみよう！
2部 ピアノ大解剖！ 講師：ヤマハ調律師 佐藤智一

宮城野区文化センター

■ 舞台スタッフラボ【第12回】

アマチュア演劇等の担い手の育成を目的として、せんだい演劇工房 10-BOX との共催で照明、音響、舞台制作等の演劇に関するスタッフワークを体験しながら、舞台技術の豊かさと表現の楽しさを味わう講座を実施した。また、集大成として演劇ワークショップと連携し、リーディング公演を開催した。

- ・実 施 日：令和6年1月18日（木）
日立システムズホール仙台 presents Atoa.X シアターホール創作公演「ココカラ先へ」仕込み見学会（オープン講座）
令和6年2月3日（土）ガイダンス（基礎・発展コース共通）
令和6年2月3日（土）～2月9日（金）（基礎コース）
令和6年2月11日（日）～2月18日（日）（発展コース）
 - ・会 場：宮城野区文化センター シアターホール他
 - ・参加者数：延べ128名
- 最終日の2月18日には、「みやぶん演劇学校」参加者が出演するステージ「みやぶんおはなし広場 森のたからもの～新美南吉童話集より～」を上演した。
(2回公演・入場者数：延べ103名)

■ 冬の親子ステージ探検隊「みんなで劇場を探検してみよう！」【第11回】

冬休みの小中高生親子を対象に、舞台芸術に興味を持つきっかけと、思い出づくりの場を提供するため、体を使った表現活動に関するワークショップと照明や音響機器の操作等の舞台技術を体験するワークショップを開催した。

- ・実 施 日：令和6年1月8日（月・祝）
- ・会 場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・参加者数：12組29名

太白区文化センター

■ ホールのうらがわ探検ツアー

地域の小学生を対象に、舞台への興味・関心を持つきっかけづくりと地域文化施設としての楽楽楽ホールの特性を知ってもらうことを目的として、照明・音響設備等を操作体験するバックステージツアーを開催した。

- ・実施日：令和5年7月30日（日）
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・参加者数：29名

広瀬文化センター

■ バックヤードツアー【第8回】

文化センターホールの舞台裏を公開することで、市民の方々が舞台芸術に触れ、施設をさらに知っていただく機会とすることを目的に開催した。

- ・実施日：令和5年8月19日（土）
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・参加者数：15名

■ わくわく体験！音ってなあに？光ってなあに？【第2回・第3回】

コンサートホールの基幹設備である照明と音響の基礎知識を知ってもらい、舞台芸術に興味を持ってもらうきっかけとすることを目的に、近隣の児童館と連携し、利用児童を対象として実施した。

愛子児童館

- ・実施日：令和5年11月18日（土）
- ・会場：愛子児童館 遊戯室
- ・参加者数：11名

川前児童館

- ・実施日：令和6年3月23日（土）
- ・会場：川前児童館 遊戯室
- ・参加者数：6名

③ 地域の歴史に関する伝承事業

地域の人々の生きた歴史や文化を知ることによって地域住民の連帯感の醸成を促し、未来を担う次世代へそれらをつなげていくために、仙台市の戦災復興の歴史を中心としてこれらを語り継ぐ事業を実施した。

ア 戦災と復興に関する資料収集と伝承活動

戦災復興記念館内にある写真や図書、資料等を適切に保管しながら、資料展示室の運営や広瀬文化センター・太白区文化センターにおける出張展示、貸出等による伝承活動を行った。

イ 地域における戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業

学校や市民センター等と連携し、職員やボランティアによる資料展示室の収蔵品の解説や戦災体験談等を行い、次世代に戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業を実施した。

ウ 戦災復興展の開催

当時の人々の暮らしや思いを知り、復興を遂げた仙台の歴史を振り返る機会として、仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催し、語り部による空襲体験談の発表や平和祈念コンサートを行った。また、令和5年度は仙台市と広島市の共催で「ヒロシマ原爆展」を同時に開催し、原爆被災写真のパネルや被爆の惨状を示す実物資料の展示、被爆体験者による講演会を実施した。

- ・開催日：令和5年7月7日（金）～7月17日（月・祝）
- ・会場：仙台市戦災復興記念館
- ・入場者数：延べ3,473名（大人2,983名 中学生以下490名）
- ・内容：被爆資料等の展示 5企画

コンサート	2公演	入場者数延べ640名
講演会	4講演	入場者数延べ414名
空襲体験談	3講演	入場者数延べ161名
平和学習（出前授業）	2回	受講者数延べ102名
紙芝居上演	2本	入場者数延べ80名
朗読会	1講演	入場者数211名
映画会	1本	入場者数89名
街歩き	1回	参加者数11名

エ 平和学習・出前講座の実施

修学旅行や校外学習等で来館した小中高生にDVD「仙台と空襲」を視聴してもらい、職員やボランティアによる講話や戦災体験談、資料展示室の見学等の平和学習を実施した。また、市内の小・中学校の授業や市民センター等に出向く「出前講座」を実施し、戦中戦後の地域の様子や生活、仙台空襲や当時の生活様式について解説した。

市内小中学校・高校、県内外小中学校等 計31団体 計1,944名

④ 地域の文化情報等の提供・相談事業

仙台市の刊行物や観光パンフレットなどの市政全般に関する資料の収集・提供等に併せて、独自で収集した地域イベント、歴史、文化に係る資料等を宮城野区・太白区文化センター内に設置された情報センターにおいて提供した。

また、市民のコミュニティ活動に関する問い合わせや地域で抱える問題等について、市政情報を活用した相談事業を行った。

なお、若林区文化センターは、令和7年6月まで大規模改修工事中のため、情報センターの業務については、有償刊行物の販売等の限定的な提供を行った。

	宮城野区情報センター			若林区情報センター			太白区情報センター		
	5年度	4年度	前年度比	5年度	4年度	前年度比	5年度	4年度	前年度比
相談件数	47	216	21.8%	90	159	56.6%	440	564	78.0%
閲覧者数	8,586	6,432	133.5%	8,558	12,546	68.2%	19,419	19,528	99.4%
貸出冊数	0	0	—	3	5	60.0%	20	4	500.0%
販売冊数	80	29	275.9%	49	17	288.2%	109	45	242.2%

(4) 地域コミュニティまつり支援事業（定款第4条第1項第1号の事業）

① 地域コミュニティまつり助成事業

地域づくりの基礎となるお互いの連帯感や共同意識、信頼関係を築くための共通の活動や経験の場として、また、地域住民の交流促進を図るために、仙台市内の町内会などが企画・実施するコミュニティまつりの経費の一部を、世帯区分に応じた金額で助成した。なお、令和5年度は、コロナ禍で休止していた地域行事の再開を支援するため、令和4年度に助成を受けていない団体に限り、助成額を1万円増額した。

助成件数 357 件、助成金額 13,860,255 円

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
助成 件数 (件)	5年度	95	82	34	86	60	357
	4年度	37	26	12	27	29	131
前年度比		256.8%	315.4%	283.3%	318.5%	206.9%	272.5%
助成 金額 (千円)	5年度	3,658	3,176	1,354	3,316	2,356	13,860
	4年度	1,546	1,078	504	1,129	1,207	5,464
前年度比		236.6%	294.6%	268.7%	293.7%	195.2%	253.7%

② 地域コミュニティまつり相談・支援事業

コロナ禍におけるコミュニティまつりの実施内容などについて相談を受け、他団体事例等の情報を提供するなどして、コミュニティまつりの実施を通じた地域づくりを支援した。

(5) 交通の安全確保による地域コミュニティづくり支援事業

（定款第4条第1項第6号の事業）

① 幼児・児童・保護者・高齢者に対する交通安全教育事業

安全・安心で住みよい地域社会づくりのために、交通事故防止と交通ルール順守及びマナーの向上をめざして、市内の幼稚園・保育所や児童館等において、幼児・児童と保護者を対象とした交通安全教育を実施した。また市民センターの老壮大学や各地区老人クラブ、社会福祉協議会、仙台市シルバー人材センター等からの依頼を受けて、全交通事故死者の約半数を占める高齢者を対象とした交通安全教育を実施した。

なお、交通安全教育の総実施回数は前年度に比べ微増であったものの、新型コロナウイルスの感染者減少や5類移行等により、特に幼児等の参加人数は大幅に増加した。

【交通安全教育の活動実績】

区 分	実 施 回 数					参 加 人 数				
	幼児等	児童	保護者	高齢者	計	幼児等	児童	保護者	高齢者	計
5年度	254	8	16	24	302	11,107	407	79	658	12,251
4年度	228	11	22	30	291	5,863	323	135	1,029	7,350
前年度比	111.4%	72.7%	72.7%	80.0%	103.8%	189.4%	126.0%	58.5%	63.9%	166.7%

② 各種イベントと連携した交通安全教育事業

市内各地区交通安全協会をはじめとする各種交通安全活動推進団体等と連携し、春・秋に開催された「交通安全県民総ぐるみ運動」や一番町四丁目商店街主催の「交通安全わいわい広場」、仙台リビング新聞社主催の「ファミリーフェス 2023」等に参加して各種の街頭キャンペーンを実施した。また、YouTube を活用し、オリジナル交通安全キャラクター「ピタッとぴーた」等を活用した交通安全啓発活動動画 10 編を新たに配信した。

③ 自転車の安全運転啓発及び違法駐車等防止に関する事業

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」に基づき、市内中心部アーケード内等において、自転車の安全利用に関する啓発活動を実施した。また、道路が公共の施設として広く一般交通の用に供されることを確保し、もって市民の安全で快適な生活環境の保持及び向上に資するため、仙台市の違法駐車防止重点地域において、違法駐車防止等の助言・啓発活動を実施した。

【自転車の安全利用の助言・啓発活動実績】

区 分	活 動 状 況	
	活動回数	助言件数
5 年度	295	190
4 年度	305	295
前年度比	96.7%	64.4%

【違法駐車等防止活動実績】

区 分	活動回数	助言件数	移動件数	移動率
5年度	99	1,230	324	26.3%
4年度	101	1,285	395	30.7%
前年度比	98.0%	95.7%	82.0%	△ 4.4

2 地域コミュニティ活動支援のその他公益目的事業の推進に資する事業

(定款第 4 条第 1 項第 2 号及び第 3 号の事業)

【収 1】費用：177,231 千円

地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、地域・文化活動拠点施設等の維持管理及び運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。その際に、公益目的の利用が見込まれない場合に限り、公益目的利用以外の施設の貸与等を行った。

3 勤労者の福祉の向上に資する事業（定款第4条第1項第7号の事業）

【他1】費用：233,367千円

仙台市内の中小企業に勤める勤労者、事業主に対して、生活の安定と福祉の増進に寄与するため、勤労者福祉増進事業（グリーン・パル事業）を実施した。Web を利用した市内飲食店利用補助や、ご家族でお楽しみいただけるギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）など、新たな手法を用い、工夫しながら取り組んだ。

（事業所及び会員数）

区 分	令和5年度	令和4年度	前年度比
年度末事業所数	835	830	100.6%
年度末会員数	23,643	23,598	100.2%

（1） 在職中の生活安定に係る事業

会員やその家族の祝い事への各種祝金、見舞金などを給付するとともに、教育資金の融資や負担の少ない掛金での共済を紹介するなど、生活安定に係わる事業を実施した。

事業名	区 分	令和5年度	令和4年度	前年度比
共済事業	給付件数	5,852	5,950	98.4%
	給付額(千円)	94,570	94,071	100.5%
融資紹介事業	利用件数	1	3	33.3%
	保証料補給額(千円)	0.4	29	1.4%
グリーン・パル 生命共済事業	利用件数	6	—	—

※グリーン・パル生命共済事業は令和5年度より開始

（2） 余暇活動に係る事業

レジャー施設、指定店、各種チケットの割引販売、委託保養所利用助成、会員生活応援のギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）などの主催事業を実施した。

事業名	区 分	令和5年度	令和4年度	前年度比
委託保養所 宿泊施設 紹介事業	利用者数	922	750	122.9%
	助成金額(千円)	1,905	1,517	125.6%
余暇活動 主催事業	開催数	41	48	85.4%
	参加者数	16,738	10,872	154.0%

(3) 健康維持増進に係る事業

人間ドック受診料、インフルエンザ予防接種費用などの一部助成、スポーツクラブ施設利用時の会員証提示による割引利用助成などを実施した。

事業名	区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比
人間ドック等 利用助成事業	助成件数	226	223	101.3%
	助成金額(千円)	1,526	1,358	112.4%
健康維持増進 主催事業	開催数	2	1	200.0%
	参加者数	7	179	3.9%

(4) 自己啓発に係る事業

会員の技能習得、目的にあったスキルアップなど、各種スクール受講料、国家資格取得受験料への助成を実施した。

事業名	区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比
自己啓発 主催事業	開催数	19	14	135.7%
	参加者数	521	576	90.5%
国家資格取得 等助成事業	利用者数	329	315	104.4%
	助成金額(千円)	1,624	1,539	105.5%

(5) 老後生活の安定・財産形成に係る事業

会員が将来に備えるための年金・定年退職セミナーや資産形成運用セミナーを実施した。

事業名	区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	前年度比
老後生活・ 財産形成 主催事業	開催数	2	2	100.0%
	参加者数	60	53	113.2%
個人年金共済 紹介事業	利用件数	82	83	98.8%

(6) 情報提供事業

各種サービス内容や手続方法などが、分かりやすく利用しやすいように「グリーン・パルだより」や「ガイドブック」を発行した。さらに、ホームページや YouTube、SNS (LINE、Facebook、X) を活用して最新情報をいち早く提供するように努めた。

また、会員獲得に向けて、会員拡大支援員の導入による訪問営業や市広報紙・事業者説明会などでの PR、会員紹介キャンペーンなどの勧誘活動に取り組んだ。

(事業例)

- グリーン・パルだよりの発行 年 8 回
- ガイドブックの発行 年 1 回 (4 月)